

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 60代	上部消化 管X線造影 (なし)	289g 1日間	アナフィラキシーショック 既往歴:胆石症の術後 投与日 検診胃透視のため,本剤及び併用薬を服用。 投与30分後 全身発赤,発汗,悪心が発現。 投与1時間後 来院。収縮期血圧64mmHg,ショック状態と診断。 点滴(補液500mL,リン酸ベタメタゾンナトリウム 4mg,dL-マレイン酸クロルフェニラミン10mg)にて,症状改善傾向。ベタメタゾン 1.5mg,塩酸オロパタジン 5mgを経口投与。徐々に症状改善。 投与3時間後 独歩で帰宅。 投与1日後 経過観察来院。発赤,発汗異常は認めず。 投与13日後 経過観察来院。自覚症状消失。	企業報告

臨床検査値

	投与日	投与1日後	投与3日後	投与7日後
収縮期血圧(mmHg)	64	136	144	112
拡張期血圧(mmHg)		72	84	74
白血球数(/mm ³)		13000		

併用薬:炭酸水素ナトリウム・酒石酸,センノシド

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	女 30代	上部消化 管X線造影 (なし)	400g 1日間	アナフィラキシーショック エビ・カニにアレルギーあり 投与日 職場検診にて、本剤、炭酸水素ナトリウム・酒石酸、ジメチ コンを服用し、胃X線検査施行(胃透視は今回が初めて)。 検査後、本剤排泄促進のためセンノシド24mg服用。 投与1時間後 頸部発赤疹に気づく。下痢数回あり。そのまま職場に戻った が、体幹、四肢に、周囲が発赤した膨隆疹を認めた。 投与3時間後 呼吸苦、低血圧発作を認め、当院を受診。 投与3時間10分後 虚脱状態で、急性アレルギー症の診断で入院。入院時、血 圧、脈拍触知不能。全身性膨隆疹を認めた。意識は明瞭で あるが、呼吸苦を訴える。D.I.V.確保し、コハク酸ヒドロコル チゾンナトリウム500mg + グリチルリチン・グリシン・システイ ン配合剤20mLを点滴静注。 投与3時間15分後 血圧70mmHg以上に上昇。脈拍触知可能となった。 投与6時間後 膨隆疹は消退傾向。意識明瞭。呼吸苦消失。 投与1日後 朝食を食し、ベタメタゾン・d-マレイン酸クロルフェニラミン配 合剤の内服も開始され、病状安定し軽快退院となった。そ の後回復。	企業報告
併用薬:炭酸水素ナトリウム・酒石酸、ジメチコン、センノシド					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		備考																
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置																		
3	男 70代	上部消化 管X線造影 (食欲減 退)	394.4g 1日間	腹膜炎 投与前 食思不振あり。 投与日 医療機関Aにて上部消化管透視を受けた。その際、本剤400gに水を加えて180～200w/v%に調製した本剤懸濁液を服用した。 帰宅後、腹痛、本剤の嘔吐のため、医療機関Aに入院。 投与1日後 乏尿、血圧低下がみられたため、医療機関Bに搬送され、直ちに緊急開腹、広範囲胃切除(B-2再建)、Braun吻合、空腸部分切除術が施行された。術後、エンドトキシン吸着療法の施行により、血圧は徐々に改善し利尿を得た。 投与33日後 退院。	企業報告																	
臨床検査値 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>投与1日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白血球数 (/mm³)</td> <td>4700</td> </tr> <tr> <td>BUN (mg/dL)</td> <td>40.3</td> </tr> <tr> <td>Cr (mg/dL)</td> <td>2.14</td> </tr> <tr> <td>CRP (mg/dL)</td> <td>20.54</td> </tr> <tr> <td>PT (%)</td> <td>48.4</td> </tr> <tr> <td>APTT (秒)</td> <td>33.8</td> </tr> <tr> <td>フィブリノゲン (mg/dL)</td> <td>483</td> </tr> </tbody> </table>								投与1日後	白血球数 (/mm ³)	4700	BUN (mg/dL)	40.3	Cr (mg/dL)	2.14	CRP (mg/dL)	20.54	PT (%)	48.4	APTT (秒)	33.8	フィブリノゲン (mg/dL)	483
	投与1日後																					
白血球数 (/mm ³)	4700																					
BUN (mg/dL)	40.3																					
Cr (mg/dL)	2.14																					
CRP (mg/dL)	20.54																					
PT (%)	48.4																					
APTT (秒)	33.8																					
フィブリノゲン (mg/dL)	483																					
併用薬: 炭酸水素ナトリウム・酒石酸, ジメチコン																						

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
4	女 70代	上部消化 管X線造影 (なし)	280g 1日間	腸管穿孔, 腹膜炎 生来健康 投与日 健康診断にて本剤服用。検査後, 緩下剤(センナエキス)内服するも排便なし。 投与1日後 夕食後, 左下腹部痛出現。また嘔吐も認めため救急車にて当院受診。受診時, 腹膜刺激症状なし。腹部X線撮影にてバリウム便の残存あり。バリウム便による腸閉塞と診断され, グリセリン浣腸2回施行したが反応便なし。その後, 微温湯にて洗腸するも反応なし。経過観察のため入院。 投与2日後 早朝, 腹痛増強したため腹部X線撮影施行したところ, 骨盤内にバリウムの貯留あり。直腸穿孔と診断。緊急手術施行。中部(Ra)直腸前壁に2.5cm大の穿孔部あり。直腸穿孔部閉鎖及び横行結腸にて人工肛門造設術施行。 投与2日後以降 術後, 敗血症性ショックとなるも, 保存的治療にて軽快。退院。 投与66日後 回復。		企業報告

臨床検査値

	投与日	投与2日後 (手術前)	投与2日後 (手術後)	投与3日後	投与6日後
赤血球数 ($\times 10^4/\text{mm}^3$)	427	398	414	360	357
ヘモグロビン (g/dL)	13.0	12.1	12.7	11.2	10.9
ヘマトクリット (%)	41.5	37.2	39.2	33.8	32.7
白血球数 (/ mm^3)	4200	7000	1600	11100	6700
CRP (mg/dL)	0.05	0.0		30.6	9.4

併用薬: 炭酸水素ナトリウム・酒石酸, ジメチコン, センナエキス